

電気式三成分静的コーン貫入試験装置（CPTシステム）とは

静的コーン貫入試験により、三成分（先端抵抗、周面摩擦、間隙水圧）を測定し、土質の特性を調査する方法は世界中で利用されています。センサーの性能は国際的な基準（ISO、ASTM）に基づいています。

有線タイプ（Vertek、Hogentogler製）、無線タイプ（音波と電波/Geotech AB社製）があります。三成分コーンは、細かい薄層の違いまで把握することが可能で、軟弱地層の判定や、基盤の調査、支持層の強度等を把握するのに有効なツールです。三成分の測定の外に、コーンの傾斜角、S波、P波など弾性波のデータも採取でき、リアルタイムに現場で土質の性状判定が可能です。

特徴 ①

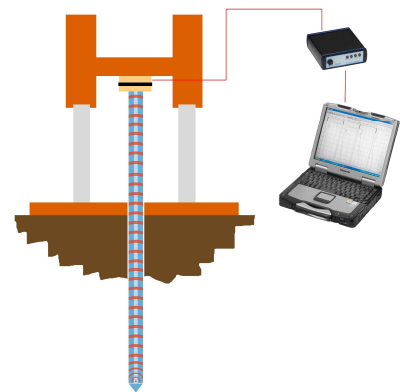
三成分コーンは、プローブ（計測部分）のサイズ、形状、押し込みスピード（2cm/秒）が厳密に決められた調査手法で、だれが調査を行っても、効率的で信頼性の高いデータ収集を行うことができます。

特徴 ②

サイスミック試験（S波とP波）を貫入試験と同時に行うことが可能です。試験のために別途ボーリング孔を設置する必要はありません。

特徴 ③

コードレスコーン（音波式、電波式）とコード式コーンから選択することが可能です。



Geotech NOVAシリーズ ※スウェーデン

<https://geotech.eu/>

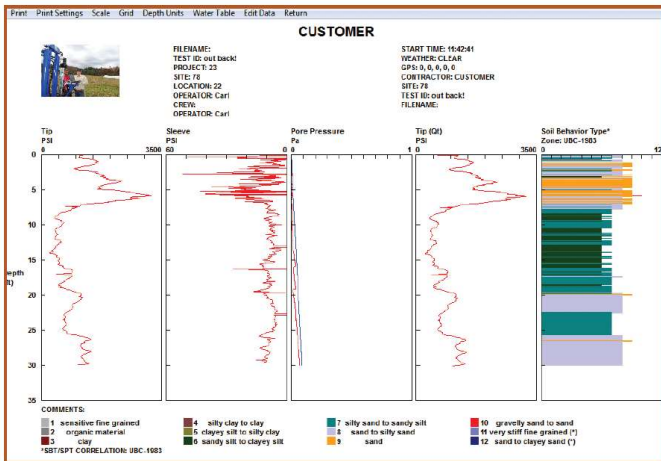
海外や日本で洋上風力発電の海底調査での使用実績が多く、コーンのシールの信頼性が高い。日本の企業によるボスボラス海峡での海底調査で使用された実績もあります。

無線タイプの選択可。コードが無いいため作業性が良いと定評があります。

押し込み力の強いジオプローブ® で貫入可能。



Vertek/Hogentoglerシリーズ ※アメリカ <https://www.vertekcpt.com/>



- 間隙水圧計測用のリングが使い捨て。そのため交換時期が明確。
- データの加工が容易。
- Vertekシステムとソフトを共有
- サイズミック（地震波）のシステムを組み込みやすい。サイズミック調査を希望する場合、お持ちのコーンにマイクロフォンを追加することが可能です。



株式会社エンバイオ・エンジニアリング

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-2

神田パークプラザ8階

電話：03-5577-5528

Email: order@enbio-eng.com

担当：田中